

環境モニタリング装置データ可視化ツール「みえ〜るくん」の開発

農業研究部

1. 研究の背景

県内では様々な環境モニタリング装置が設置されているが、各社で出力データの書式が統一されていない。このため、普及指導員は「FSデータ可視化用pythonスクリプト」（産業科学技術センター、R1開発）を活用し、データ比較や整理を行っている。今回開発したツールは、既存のスクリプトにグラフィカルユーザーインターフェース（GUI）を実装することで、専門知識がなくても容易にデータ分析を行えるようにした。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・ほぼマウス操作で環境モニタリングデータの分析が可能である（図1）。
- ・GUIを実装し、ビジュアルで機種やハウス、年産同士を容易かつ迅速に比較可能である（図2）。
- ・本ツールは一般公開しておらず、県内普及指導員のみでの公開である。

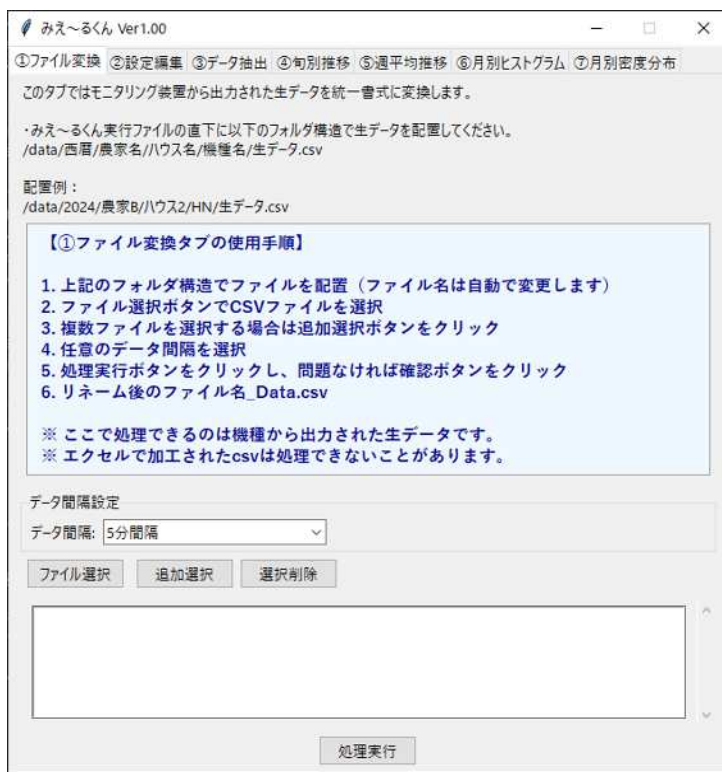


図1 GUIによる操作画面

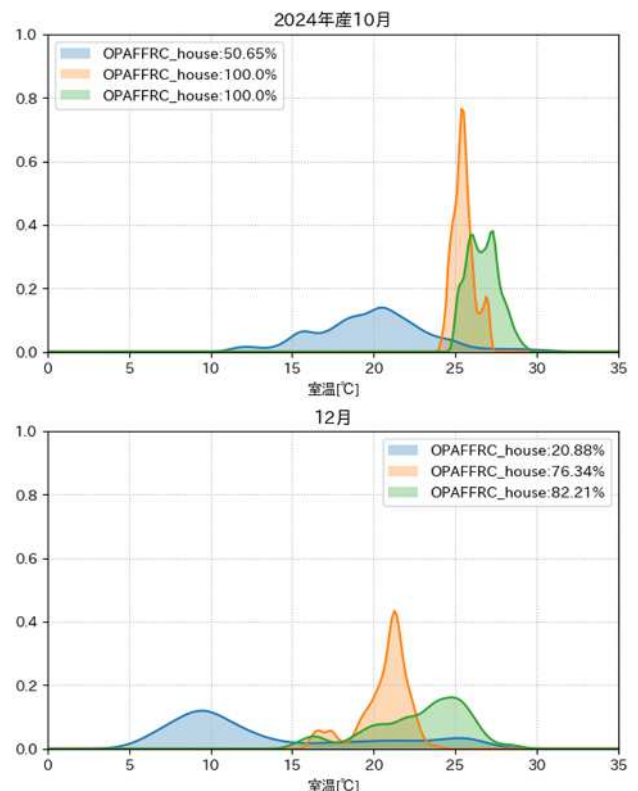


図2 出力結果

3. 期待される効果

本ツールを活用することで、環境モニタリング装置から得られたデータを容易に作図でき、グラフの比較分析を行うことが可能となる。生産現場で普及指導員がデータに基づき決定する環境改善や栽培管理方法の産地全体への波及が期待できる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部
住所:大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8

企画指導担当
電話:0974-22-0671